

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
理科	化学総合	普通科・2 学年・文系	2
教科書 副教材等	[主たる教材] 改訂版新編化学基礎 (数研出版) 改訂 高等学校 生物基礎 (第一学習社) [副教材] スクエア最新図説化学 (第一学習社) ニューステージ 新生物基礎 (浜島書店)		

1 学習目標

- (1) 1 年次に学習した化学基礎と生物基礎を総合して学習し、生物学的な裏付けのもとに、化学についての理解を深める。
- (2) 実験、観察を通し、化学基礎および生物基礎についての理解を深める。

2 指導の重点

化学基礎および生物基礎について、講義、実験・観察を通じ、総合的な知識を学ぶ。また、実験・観察などの考察において、互いに意見を出し合うなど、言語活動を取り入れていく。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 月 ～ 5 月	物質の構成, 構成粒子と生物		物質の構成と生物の構成について理解する。 ○ 1 学期中間考査	9	授業取組 小テスト 提出物 定期考査
5 月 ～ 7 月	物質の構成粒子と結合 細胞と化学物質 遺伝現象と遺伝子 遺伝情報の複製と分配		化学物質としての遺伝物質と生命現象としての遺伝現象について理解を深める。 ○ 1 学期期末考査	13	授業取組 小テスト 提出物 定期考査
7 月 ～ 10 月	遺伝情報とタンパク質の合成 物質と化学反応式 代謝		化学反応と物質の関係について理解を深め、生命現象としての代謝について学ぶ。 ○ 2 学期中間考査	18	課題テスト 授業取組 小テスト 提出物 定期考査
10 月 ～ 12 月	酸, 塩基の反応 酸化還元反応 体内環境の維持のしくみ		酸, 塩基および酸化還元といった反応についての理解の上, 体液の状態, 体内環境の維持について学ぶ。 ○ 2 学期期末考査	18	授業取組 実験の技能 小テスト 提出物 定期考査
12 月 ～ 3 月	バイオームとその分布 生態系 生態系のバランスと保全		生態系のバランスと保全について学び, 科学的な知識を裏付けに環境問題への意識を高める。 ○ 学年末考査	12	授業取組 小テスト 提出物 定期考査

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

長期休業中の課題
実験レポート
他

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
自然の事象・現象に関心をもち、意欲的に探求する科学的態度を身に付けている。	化学現象や生物現象の中に問題を見いだしているか。また、探求の過程で事象を科学的に考察し、的確に表現している。	化学現象や生物現象についての観察・実験の基本操作、過程・結果の記録、整理の技能を習得している。	化学現象や生物現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業への参加状況 ・授業プリントや課題への取り組み ・授業中の小テスト ・定期考査 ・質問に対する発言の内容 ・実験への参加状況、作業の仕方 ・実験レポートの記入状況 などから総合的に評価します			

6 担当者からの一言

自然事象を深く理解するためには、「知的好奇心」、「論理的思考力」、「創造力」が欠かせない。身の回りに起こる事象を、科学的な視点で捉え、「なぜ?」「どうして?」「どのように」を考えることが、未知の事象に対する思考・判断の素になる。そう考えるための基本的な知識や考え方を身に付けよう。